

遠隔（オンライン）講義での注意点

学生向け注意事項

1. 学生が、対面講義及び遠隔講義を受ける際、個人的に複製することは可能です。

①「私的複製」

- 配信された資料を印刷すること。
- 配信された映像をダウンロードすること。

2. 配信された講義内容を、授業の過程における使用目的以外では、公衆送信はできません。

②「公衆送信」

- 講義映像をキャプチャーしたものをSNSに貼り付ける
- 講義映像をYouTubeに配信する

3. 配信された講義は、受講者だけが見ることができます。

- 家族や友人に見せることは、著作権侵害です。

4. Zoom等の双方向講義においては、個人のプライバシーに気を配ってください。

自分の背景に、住所
や家族を特定できる
ものを入れない

背景画像を入れてみる

シーツやカーテンで背景を隠す

参考

他者の著作物が入った講義資料であっても、「教育を担当する者」と「授業を受ける者」は、「授業の過程における利用」であれば、「必要と認められる限度において」、

- ①「複製」
- ②「公衆送信」
- ③「公衆送信されるものを受信装置を用いて公に伝達」することができます。

**Even the resume or reference documents of the class, which contains others' works, “the person who is in charge of providing the education” and “the students, who take the class” can
1) reproduce, 2)public transmit, and
3)communicate publicly
to the extent deemed necessary for the purpose of use in the course of lessons.**

そのためには、次頁の条件を充足することが必要です。
In case the conditions of the next page are fulfilled.

条件としては、(conditions)

- 必要と認められる限度(to the extent deemed necessary for the purpose of the use in the course
- 2020年4月28日以降(on and after 28th April 2020
- 大学がSARTRASと契約(来年以降支払い義務)(the university is needed to make contract with SARTRAS. It is free only in the fiscal year of 2020. From next fiscal year, charged.
- 大学での講義以外は適用外(使用できません)(It is only for the lectures in the university. Other uses are not available.

定義:

「学校その他の教育機関」

definition:

“in schools and other educational institutions”

○

学校教育法でいう大学
公民館、博物館、図書館、
教育センター他

University stipulated by the
School Education Act,
Community Center,
Museums, Education
Centre etc.

別紙参照

×

営利目的の会社や個人経営
の教育施設、専修学校また
は各種学校の認可を受けて
いない予備校・塾、カル
チャーセンター、企業や団体
等の研修施設

Institutions established for
profit-making, Cram school,
private academy without
permission as schools,
Culture centre, training
centre of companies

定義:

「授業」

definition:

“in the course of lessons”

○

講義、実習、演習、ゼミ /
初等中等教育の特別活動や
部活動、課外補習授業等 /
教育センター、教職員研修
センターが行う教員に対する
教育活動 / 教員の免許状
更新講習 /

Lecture, practical work, seminar
type class, educational activities
run by educational centre,
renewal courses for teaching
license etc.

×

入学志願者に対する学校説明会、
オープンキャンパスでの模擬授業
等 / 教職員会議大学でのFD,SD
として実施される教職員を対象とし
たセミナーや情報提供 / 高等教
育での課外活動(サークル活動
等) / 自主的なボランティア活動
(単位認定がされないもの) / 保
護者会 / 学校その他の教育機関
の施設で行われる自治会主催の
講演会、PTA主催の親子向け講座
等

School explanatory session,
classes in open campus, FD, SD,
clubs at higher education, etc.

定義:

「必要と認められる限度」

definition:

“to the extent deemed necessary for the purpose of use in the course”

○

○クラス単位や授業単位までの利用(大学の大講義室での講義を始め、クラスの枠を超えて行われる授業においては、当該授業の受講者数)

Within the use of the class or the lecture. If it is a large class of a university, it should be only for the students, who take the class.

○履修者へ配布するのと同じ複製物の授業参観、研究授業の参加者への配布

To provide the same documents to the class observers.

現状のまとめsummary

	①対面授業のための複製	②対面授業のための公衆送信	③遠隔合同授業のための公衆送信	④スタジオ型遠隔授業のための公衆送信	⑤オンデマンド授業のための公衆送信
現行法 Old art.35	無償権利制限 (35条1項)	要許諾 	無償権利制限(35条2項)	要許諾 	要許諾 
<u>改正法</u> <u>New</u> <u>art. 35</u>	無償 権利制限 (35条1項・2項) Free to use	補償金付き 権利制限(35条1項・2項) Compensation money is needed	無償 権利制限(35条1項・3項)	補償金付き 権利制限(35条1項・2項) Compensation money is needed	補償金付き 権利制限(35条1項・2項) Compensation money is needed
	通常の教室での講義での複製 Reproduction at class lecture	講義の資料を予習復習のために配信 Sending documents of lecture to students for review	遠隔同時送信(二部屋同時講義) Remote lecture in 2 classes at a time	遠隔同時送信(スタジオに学生はいない) Remote lecture but no student at the sending studio	遠隔異時送信 Remote lecture on demand basis